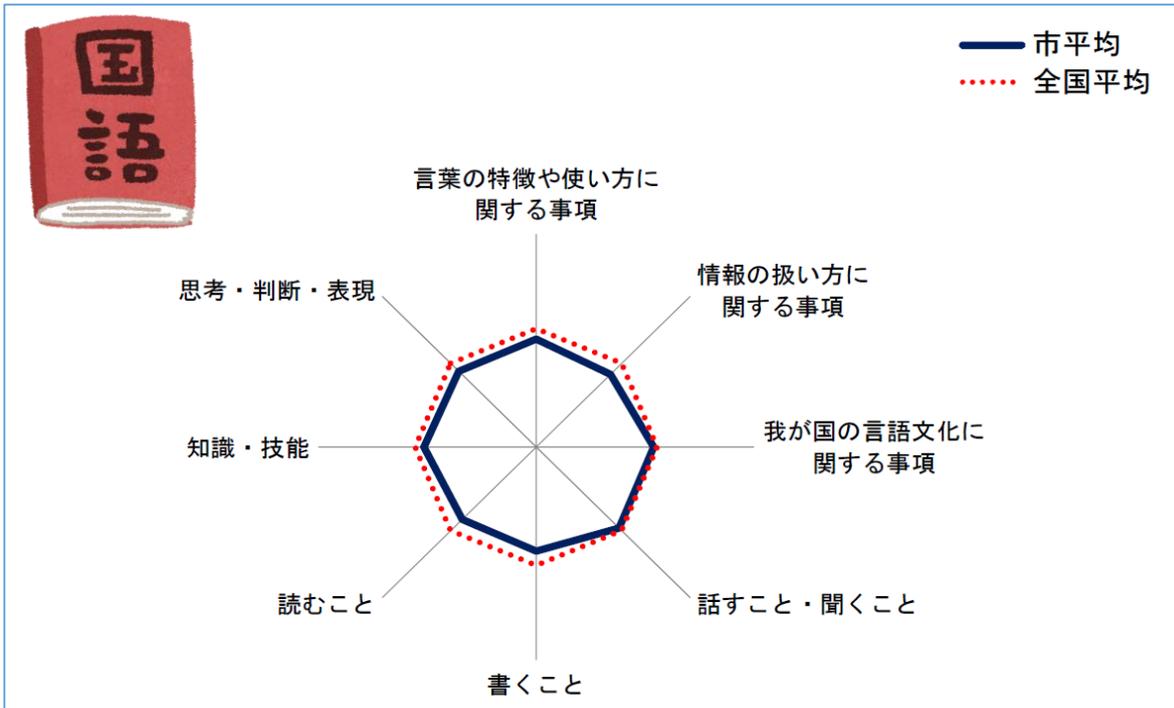




新居浜の中学生は、全体として「全国平均よりやや低い」調査結果でした。



よくできていた  
 国語問題

「提示されたメモについて説明したものとして適切なものを選択する」問題がよくできていました。

「事象や行為、心情を表す語句について、その意味として適切なものを選択する」問題がよくできていました。

聞き取ったことを基に自分の考えを書くことは、正答率が高いのですが、無解答率も高いです。書くことに苦手意識を持っていたり、資料の内容をまとめることができにくかったりする生徒が一定数います。授業の中で、資料を基に考えたことやまとめたことを書く活動を取り入れるなど、苦手意識のある生徒への継続した手立てが必要です。

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかを問う記述式問題は、全体として正答率が低く、無解答率が高いです。日頃から資料を比べて読み取ったり、読み取ったことを書いたりする活動が必要です。

文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があります。実際に書く活動を通して漢字を正しく用いる態度と習慣を養うこと、端末を使用する場合も、変換の際に意味を確認したり、辞書を引いたりするよう指導していくことが重要だと捉えました。

結果を受け組んでいきたいこと

